

## 1. 単元名 「奈良女子宣言」を未来の万博へ～奈良から世界へ～

### 2. 単元の目標

- ・万博の定義は、「公衆の教育」と「未来への展望を示す」必要があることを定義されていることを知り、その定義や理念のもと開催され続けていることを理解する。 (知識及び技能)
- ・各時代の万博がどのようなメッセージを遺し、これからの未来にどんなメッセージを遺していくべきかを、多面的・多角的な視点で、判断できる。 (思考力・判断力・表現力等)
- ・リヤド万博にむけて、身近な課題や共生社会のあり方を伝える方法を主体的に考え、行動ができる。 (主体的に学習に取り組む態度)

### 3. 単元について

#### (1) 教材観

国際博覧会、通称「万博」は1851年、産業革命が最初に起きたイギリス（ロンドン）で始まった。それから、技術革新という光と戦争をはじめとした影の両側面を世界が経験しながら現代に至るまで規模は異なるが持続してきている。万博は途絶えることなく行われていることに価値があり、昨今は宗教対立を契機とした戦争という影が大きくなっているなかで、どのような光を描けるかがこれからの鍵になってくると考えられる。本実践において万博を教材化した理由は2つある。

第1に国際交流の視点である。万博と聞くと世界各国や様々な企業の最先端技術や最新の物を鑑賞する場として捉えがちであるが、未来社会や地球規模の課題について考え、学び、新たな価値を共創するための「生きた教材」として捉えたい。特に近年の万博においては、課題の「答え」ではなく「問いの強度」を重要視するようになってきている。万博は、テーマに対する答えを持ち寄り議論する場であるという側面があり、つまりはダイバシティを認め、国際交流のきっかけづくりをしているということ忘れてはならない。

国際博覧会条約の第一条に、「博覧会とは名称のいかんを問わず、公衆の教育を主たる目的とする催しであって、文明の必要とするものに応ずるために人類が利用できる手段又は人類の活動の一若しくは二以上の部門において達成された、進歩若しくはそれらの部門における将来の展望を示すものをいう。」と定義されている。この一条に触れることで、全ての人々とともに、どのような未来を創造し実現できるかを考えることを目指す。

第2に、テーマが示す持続可能な社会づくりのためのヒントに触れることである。EXPO2025は、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマをもとに、世界各国が社会課題に取り組むとともにSDGs

の達成も目指された。閉幕日には、「大阪・関西万博宣言」が宣言され、大屋根リングに象徴されるように「多様でありながら、ひとつ」ということを世界に向けて宣言した。

また、5年後の2030年にはサウジアラビアで「リヤド万博」が開催される予定である。リヤド万博では、「未来への洞察」というテーマとそれを支える変革をもたらす技術・持続可能な解決策・豊かな人々というサブテーマが掲げられている。特に、持続可能な解決策においては自然環境との共生がキーワードになってきている。本単元では万博を通して地域の未来を構想する。奈良においては、東大寺を創建した聖武天皇の「動物も植物も共に栄えること」という願いをかわきりに、春日山原始林・鹿などと共生してきた1300年以上の歴史がある。この奈良独自の共生は、持続可能な解決策の一つになり得ると考え、未来へ向けてもつなげていく必要がある。

## (2) 生徒観

生徒は、1学期の歴史総合と探究学習において、東大寺の歴史とSDGsの関連性について学習した。東大寺を創建した聖武天皇の「動植ことごとく栄えんことを欲す」という大仏造立に込めた思いがSDGsと関連があることに気づき、聖武天皇の思いに共感し、ポスター等で知らせるなどの行動化も起こしている。また、2学期の初めには、奈良の人と鹿の共生について学習し、1000年以上前から共生していることの卓越性に気づき始めている。

万博についての知識は浅く、吹田に所在する太陽の塔が1970年の万博のシンボルであったことを知らない生徒も多い。EXPO2025に対しては、ニュース等の影響で負のイメージが強かった。そのようななかで、1学期末には大阪・関西万博へ校外学習にも行き、万博に対してのイメージも少し良くなっていることが、公式キャラクターのミャクミャクへの関心の高まりなどから考えられる。

## (3) 指導観

本実践は総合的な探究の時間と歴史総合をカリキュラム・マネジメントし、万博が見つないできたメッセージと各時代の社会の動きに着目させていく。「歴史総合」では、イギリスの産業革命の学びを踏まえながら万博について学習し、歴史的事象を総合的かつ批判的に捉えられるようになることを目的としている。

歴史総合で学んだことを単なる過去の知識として終わらせるのではなく、それらが現在の社会が抱える「現代的な諸課題」にどう繋がっているのかを考察させる。また多様な視点から考えるために、歴史総合だけでなく他教科とも連携し学習を展開させていくことを重視している。さらに、地域や万博に関わった企業といった外部の方々に評価してもらいながら、企業の目指す未来の展望、それに向けた生き方に触れ、学びを深めていく活動も行う。そうすることで、様々な方向性からの価値観と行動の変革が期待される。

これからを取り入れることで、探究の時間では、生徒自身が自ら身近な地域課題を探し、問いを立て「未来の展望」を描き、行動化を起こす姿が生まれていくと考えている。

過去・現代・未来について、様々な教科や機関とともに考え、行動したことが未来を創っていくということに気づかせるとともに、2030年のリヤド万博へ向けた発信を、奈良から創っていききたい。

#### (4) ESD との関連

##### ○本学習で働かせる ESD の視点 (見方・考え方)

- ・責任性：時代を超えて、万博で示された思いやテーマが受け継がれ、これからも続けていく必要がある。
- ・連携性：万博に込められた思いや、それに共感した企業など様々なセクターが協力して未来の展望や、それに向けた行動を継続してきている。

##### ○本学習を通して育てたい ESD の資質・能力

- ・システムズ・シンキング：万博の歴史的変遷を通して、開催する目的や社会とのつながりを環境・社会・経済など多面的・多角的な視点から考えることができる。
- ・協働的問題解決力：企業の人や他者の意見を踏まえて自分自身の思考を整理し、グループで協力しながら身近な観光客や後輩にむけて自然との共生を学べる企画を提案できる。

##### ○本学習で変容を促す ESD の価値観

- ・世代間の公正

国際博覧会条約の1条に、「博覧会とは将来の展望を示すものをいう」と記載されているため、将来世代によりよい自然環境を維持できる学びの旅のプランを提案できる。

##### ○達成が期待される SDGs

- ・11：住みつつづけられる街づくりを
- ・15：陸の豊かさを守ろう
- ・17：パートナーシップ（国際交流）

#### 4. 単元の評価規準

ア 知識及び技能	イ 思考力・判断力・表現力等	ウ 主体的に学習に取り組む態度
<p>①万博は、「公衆の教育」と「未来への展望を示す」必要があることを定義されていることを知っている。</p> <p>②万博が定義や理念のもと開催され、様々な社会的背景のなかで持続してきていることを理解している。</p>	<p>①各時代の万博の特徴と社会的背景の関連性を考え、判断している。</p> <p>②どのようなメッセージを遺し、これからの未来にどんなメッセージを遺していくべきかを、多面的・多角的に考え、判断している。</p>	<p>①これまでの万博と社会的背景を踏まえて、これから行われる万博にむけて、身近な課題や共生社会のあり方を主体的に探り、課題解決の方法を多様な視点から提案し、行動しようとしている。</p>

5. 単元の指導計画（全12時間 総合的な探求の時間9時間・歴史総合3時間）

次	学習活動	指導上の留意点	評価
一次 (見 つ め る)	<p>①万博について知る</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">万博って何だろう？</div> <p>○万博と聞いてイメージするコト・モノを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミヤクミヤク</li> <li>・空飛ぶ車</li> <li>・大屋根リング</li> </ul>	<p>・万博と聞いてイメージするコト・モノを記入させる。</p>	<p>アー① 土曜講座</p>
	<p>②EXP070 と比較する。</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">EXP070 のシンボルである「太陽の塔」に込められたメッセージはなんだろう？</div> <p>○太陽の塔の AR 動画を視聴しながら、EXP070 からのメッセージが何かを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡本太郎は、過去・現在・未来がつながっていることを伝えたかったのかな？</li> <li>・岡本太郎は生命の素晴らしさを伝えたかったのか？</li> </ul>	<p>※GT</p> <p>○太陽の塔に込められたメッセージを考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・岡本太郎が SDGs を先取りしていた</li> <li>・EXP02025 にも目を向けさせる。</li> </ul>	<p>イー② 土曜講座</p>
二次 (調 べ る)	<p>③EXP02025 を体験する。</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">大阪・関西万博のテーマに関連すると考えられるヒト・モノ・コトを探そう</div> <p>○大阪・関西万博に行き、テーマに関連すると考えられる写真を撮影してくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマに関連するヒト・モノ・コト</li> <li>・未来社会を表現しているヒト・モノ・コト</li> </ul>	<p>○万博校外学習に行き、テーマに関連する写真を撮影させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」</li> <li>・どんなところにテーマにつながるものを見つけた？</li> </ul> <p>※事前指導で、万博のテーマと、未来社会の実験場であることを伝えている。</p>	<p>イー①・② 校外学習</p>

<p>④EXPO2025 の体験をもとに考える。</p> <p>○万博に行って感じたことを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来で当たり前になっていそうなものは？</li> </ul>	<p>○万博の体験を踏まえて考えさせる。</p> <p>○万博の写真などを振り返りながら、感じたことを共有させる。</p>	<p>ア－①</p>
<p><b>万博を行う意義は何だろう？</b></p>		
<p>○万博をする目的を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・万博の体験を振り返りつつ、国際博覧会条約の条文をもとに考える。</li> </ul>	<p>○万博の体験で感じたことと条文を照合させる。</p>	<p>イ－①</p>
<p>○過去の万博を調べる。</p>		
<p><b>これまでの万博の特徴について調べよう。(歴史総合)</b></p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1850年～1900年</li> <li>※万博がロンドンで開催(産業革命)</li> <li>・1901年～1950年</li> <li>※二度の世界大戦</li> <li>・1951年～2000年</li> <li>※戦後(大阪万博)</li> <li>・2001年～2025年</li> <li>※現代(大阪・関西万博)</li> </ul>	<p>○万博のテーマや展示、来場者数などを調べ、各年代でどんな未来を示そうとしていたのかを考えさせる。</p> <p>※国際博覧会条約の定義(公衆の教育・将来の展望を示すこと)について触れる。</p>	
<p>○過去の万博と社会の動きの関連性</p>		<p>イ－①・②</p>
<p><b>過去の万博と社会の動きの関連性を探る。(歴史総合)</b></p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・1850年～1900年</li> <li>→近代化と植民地化</li> <li>・1901年～1950年</li> <li>→二度の世界大戦</li> <li>・1951年～2000年</li> <li>→国際秩序の変化</li> <li>・2001年～2025年</li> <li>→グローバル化と未来</li> </ul>	<p>○教科書を活用させる。</p> <p>年表を活用しながら、万博と社会の動きの関連性を探らせる。</p> <p>○各年代をひとことで表現させる。</p> <p>例：○○な時代</p> <p>※教科書の時代区分にも着目</p>	

三次 (深める)	⑤EXP02025 がのこしたメッセージを 考える。	○EXP02025 がのこしたメッセージに ついて考え、	イ - ②
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <b>大阪・関西万博は、どんなメッセージをのこしてくれたのだろうか？</b> </div>		
	・「大阪・関西万博宣言」やガイドブ ックから読み取る。	・「大阪・関西万博宣言」やガイドブ ックから読み取らせる。	
⑥万博に参画した奈良の企業にインタ ビューをする。	GT：ダイワハウス	ウ - ①	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <b>万博に参画したダイワハウスはどんな未来を創造しているのだろうか？</b> </div>			
○社員さんに質問をしながら、ダイワ ハウスが描く未来と目標に向けた行動 を教えてください。	○ダイワハウスさんの理念や未来へ の展望について紹介。 ・儲かるからではなく、人の役に立 つ。 ・生きる喜びを分かち合える社会		
○未来へのメッセージを考える。		イ - ① ウ - ①	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <b>過去・現代から未来（リヤド万博）へどんなメッセージを伝えるべきだろうか？ 奈良女子宣言を作る（歴史総合）</b> </div>			
○リヤド万博について知る。 テーマ：「未来への洞察」 サブテーマ ・変革をもたらす技術 ・持続可能な解決策 ・豊かな人々	○リヤド万博について知らせる。 ※持続可能な解決策に着目 →環境と共存する社会づくりの提案 に着目させる。		
⑦未来へのメッセージを発信する準備	○未来へのメッセージをグループで 発信する準備をさせる。	イ - ①・② ウ - ①	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <b>地域に未来に向けた「奈良女子宣言」を伝える準備をしよう。（2時間）</b> </div>			
・どんな伝え方にするか？ →ポスター？動画？発表？	・ポスター制作 ・学びの旅の企画提案 ・学会発表 ・SNS への投稿 等		
四次 (広げる)			

⑧未来へのメッセージを発信する。		ウー①
<b>地域に未来に向けた「奈良女子宣言」を発信しよう。</b>		
○地域に「奈良女子宣言」をする。	○「奈良女子宣言」を発信し、企業の人に伝え、評価してもらおう。	

## 5 成果と課題

### ○はじめに

本実践は、国際博覧会、通称「万博」という地球規模のイベントを、生徒たちが未来社会や地球規模の課題について考え、新たな価値を共創するための「生きた教材」として活用したものである。今回着目した国際博覧会には4つの歴史的な段階がある。

- ・「①国力を示す万博」：産業革命と帝国主義を背景に、近代化をアピールした時代。
- ・「②戦時下の万博」：二度の世界大戦を背景に、国際秩序が揺れ動いた時代。
- ・「③共に考える万博」：戦後の東西冷戦と平和への希求を背景に、科学技術の発展を問い直した時代。
- ・「④持続可能な未来を創る万博」：グローバル化と地球規模の課題を背景に、共創を目指す現代。

本実践で重要視したのは、4段階目の未来を創るための価値観と行動の変革を促すことである。総合的な探究の時間だけでなく、歴史総合の授業と連携しカリキュラム・マネジメントすることによって、より深みのある価値観と行動の変革につながるのではないかと考えた。歴史総合は、産業革命以降（江戸時代の幕末以降）を扱った内容であるため、万博の歴史との親和性が高いことが特徴である。そのため、歴史的な文脈のなかで万博が未来に向けてどのようなことを発信してきたのかをヒト・モノ・コトの視点から捉えるとともに、これからの未来社会を考え、行動に向けた足掛かりになると考えた。

生徒は、1851年のロンドン万博から未来の2030年リヤド万博まで、万博の歴史とその社会的背景を踏まえて、過去・現在・未来を主体的に繋ぐ探究活動を展開し、特に自然との共生に着目した行動化を起こした。

### ○実践の概要

本実践で特に重視したのは、時代を超えてテーマが受け継がれる公平性や、多様なセクターが協力する連携性といった視点である。また、育成を目指す資質・能力としては、万博の歴史的変遷と社会のつながりを多角的に捉えるシステムズ・シンキングや、他者と協力して課題解決策を提案する協働的問題解決力を養うことを目指した。さらに、将来世代のためにより良い環境を維持しようとする世代間の公正という価値観の変革を意図した実践である。

### （見つめる）

生徒の万博に対するイメージは、「ミャクミャク」や「空飛ぶ車」といった断片的であることに加え、メディア等の万博に対するマイナス報道によって否定的な意見が多かった。そのため、本実践では

1970年の大阪万博（EXP070）のシンボル「太陽の塔」が持つメッセージをGTと共に考えることから始めた。「太陽の塔」を建設した岡本太郎が作品に込めた「過去・現在・未来のつながり」や「生命の素晴らしさ」といったテーマに触れることで、生徒たちは万博が単なる技術展示の場ではなく、時代ごとのメッセージを発信する場であることに気づいていた。

#### （調べる・深める）

調べる・深める段階では生徒の万博に対する理解を多面的・多角的に捉えるべく、大阪・関西万博の校外学習を通じて、現代の万博が掲げるテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を体感した。さらに、歴史総合では時代ごとのメッセージに着目し、各時代の万博を歴史的な背景を踏まえながら調べ学習をした。生徒の振り返りでは、「様々な時代がどのような時代か知り改めて万博って様々な人たちの願いなどが込められていると感じました」「世界の情勢を調べることで、その時代の万博にすごく反映されているなど感じた」などと記述していた。万博は、開催された当時の世界情勢や願いを映し出しているということに気づいていた。

さらに、万博に参画した企業（ダイワハウス）の社員へインタビューを行い、「人の役に立つ」「生きる喜びを分かち合える社会」といった企業の理念に触れ、未来を「共創」する考え方にあこがれるとともに、万博が多様なステークホルダーの協働によって成り立っていることを理解した。

#### （広げる）

学習の集大成として、生徒たちは自らの学びを社会への発信へと繋げる。探究の過程で得た「共生」というテーマと、自分たちの足元にある奈良の地域性である「1300年以上続く人と鹿の共生」の歴史を結びつけ、未来の万博が目指す普遍的な課題解決のヒントとしてクリティカルに捉えなおすことができていた。また、未来へ向けた「奈良女子宣言」を作成し、最終的には協力企業やESD学会といった外部機関へ向けて発信・発表する予定である。

### ○ESDの視点から見た実践の成果の成果と課題

本実践の成果は3つある。第1に、システムズ・シンキングを養えたこと、第2に、協働的問題解決力を養えたこと、第3に、万博を「消費者」の視点から「未来の創り手」の視点へと転換し、行動化につなげたことである。

第1のシステムズ・シンキングについては、万博を横の広がりである世界と、縦のつながりである過去・現在・未来の双方向から捉えることで、多面的・多角的な視点から考えを深めることができた。万博の歴史を単なる出来事の年表として暗記するのではなく、社会背景と連動した一つの大きなシステムとして捉え直すことができていた。生徒の振り返りから「前は見せる万博だったけど徐々に、テーマを重視し一緒に考えていくものへと変わった」「戦前は自国のことを示したり自国の強さを示すものだったのが、世界全体の課題や未来のこと、生命や共存のことになっていることがわかり、これからは、環境や共存を考えていくのだと思いました。」などといったことを記述していた。

これらの記述は、生徒たちが歴史的事象を多面的・多角的に考察し、その背景にある社会的な関係性や構造に気づけるようになってきていることがうかがえる。

第2の協働的問題解決力を育成では、奈良の「人と鹿の共生」というローカルな歴史的・文化的価値を、万博が掲げる「持続可能な解決策」というグローバルな課題解決の文脈に接続させた点である。このローカルとグローバルを接続する思考は、1学期に学んだ聖武天皇の大仏建立にこめた願いが持続可能な社会づくりにつながっているということに気づき、行動を起していたからだと考えられる。生徒は、聖武天皇の「動植ことごとく栄えんことを欲す」という願いから、1300年以上続く奈良の人と自然の共生の歴史を再発見し、この学びを2030年リヤド万博のサブテーマである「持続可能な解決策（自然環境との共生）」へとつなげることができていた。このプロセスは、地域課題（Local）を地球規模の課題（Global）と結びつけて考えるという Think Globally, Act Locally（地球規模で考え、足元から行動する）につながったと考える。

第3の消費者視点から未来の創り手視点への転換と行動化は、生徒の万博に対するイメージの変化からうかがえた。実践前の生徒たちの万博に対する印象はマイナスイメージが多かった。しかし、探究活動を通じて万博の歴史的意義や未来への展望を学ぶなかで、万博に対するイメージが良くなっていった。万博を単なるイベントとして消費するのではなく、「未来社会や地球規模の課題について考え、学び、新たな価値を共創するための『生きた教材』」として捉え直すことができていた。生徒の記述から「知らない人、文化、アイデア、価値観、そして、沢山の出会いがある場所を作る→社会の課題解決」「万博は、未来を作るうえで必要なものだと感じました。」などがあつた。

本実践を通して地域課題を自分事として捉えるとともに、地域課題を批判的かつ総合的に捉えられたため、行動化につなげられる生徒が増えたと考える。また、これらの3つの成果は個別に存在するのではなく、システム思考を基盤として地域課題と地球課題を結びつけ、それが価値観の変容を促し、最終的な行動化へとつながるといふ、相互に関連し合っていた。

一方で、本実践における課題は、行動化の質である。ESDでは、価値観と行動の変革を促すことが求められ、実際に行動に移すこと、起こそうとしていることについては評価できるが、行動化がポスターでの発表やSNS等での発信など、ワンパターン化していると考えられる。本校の探究の授業では、行動化を起こすことが当たり前になっているため、行動化を起こすことへの困難さは小さいが、価値観の変革が起こりにくいといった側面がある。

価値観の変革は、行動化を問い直すことにつながり、行動化の深まりが生まれると考える。

このように価値観と行動化の双方が影響しあつて授業を展開させていくことが重要であるが、行動化を起こすことへの比重が大きかったがゆえに価値観の変革が小さく、行動化の深まりに欠けたことが課題であると考えられる。

## ○まとめ

当初は万博に否定的なイメージさえ抱いていた生徒たちが、探究を通じてその本質的価値を理解し、単なる「消費者」から社会課題の解決に貢献しようとする「未来の創り手」へと視点を転換できたことで行動化が促進された。また、単一のテーマを探究するだけに留まるのではなく、生徒が自らの地域の文脈と地球規模の課題を接続し、過去の学びを未来への行動へと転換させることで、縦軸（過去・現在・未来）と横軸（世界）の双方の広がりを含み、価値観と行動の変革が促されたと考える。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合的な時間の学習	<b>1 学期</b> 万博について知ろう！ <b>1) 万博ってなんだろう？</b> ・万博について知っていることを他社と共有する。 →ミヤクミヤク・空飛ぶ車・大屋根リング <b>2) EXPO70 と EXPO2025 を比較する。</b> ・太陽の塔に込められてメッセージを考える。 ※GT を招聘し、EXPO70 と EXPO2025 を比較しながら、岡本太郎がSDGs を先取りしていたことを理解する。 <b>3) EXPO2025 のテーマに関連するヒト・モノ・コトを探る。※校外学習</b> ・大阪・関西万博に行き、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマに関連するヒト・モノ・コトを探し、写真を撮影してくる。 <b>○東大寺大仏造立への思い</b> ・聖武天皇が大仏造立に込めた思いである「動植ごとく栄えんことを溶す」がSDGs と関連していることを理解する。			<b>夏休み</b> 世界遊び・学びサミット (クラゲ館) <b>○様々な国と国際交流</b> ・万博のナショナルデーに参加するパブアニューギニアの子どもと奈良公園で交流。 ・オンラインでスイス・中国など様々な国と、様々な世代(小・中学生)と交流。 ※万博の目的のひとつである、国際交流の促進を体感させる。 <b>○万博での国際交流</b> ・オンラインで交流した小中学生とともにマレーシアや来場者とともに、歌と踊りで交流をする。		<b>2 学期</b> 万博の本質と受け継がれるメッセージ！ <b>1) 万博を行う意義とは？</b> ・万博に行ったことを振り返りつつ、万博を行う意味を考える。 ・国際博覧会条約の定義を調べ、公衆の教育と未来への展望を示すことが重要であることを理解する。 <b>2) 大阪・関西万博が遺したメッセージとは？</b> ・「大阪・関西万博宣言」やガイドブックからメッセージを探る。 ※歴史総合での過去の万博の学習を踏まえ、社会と万博の関連性から伝えていくべきメッセージを考える。 <b>3) 伝えていくべきメッセージを関係機関の方々に評価してもらい、メッセージを具体化する。(奈良女子宣言を作成)</b> ・関係機関(大和ハウス・学びの旅)はどんな未来を全ての人々に示そうとしているのかを聞く。 ※大和ハウス：生きる喜びを分かち合う・共生社会 ※学びの旅：観光という視点からSDGs の達成に貢献 ・関係機関(大和ハウス・学びの旅)の方々に自分たちが考えた万博が遺したメッセージを評価してもらい、共に考える。			<b>3 学期</b> 「奈良女子宣言」を未来の万博(リヤド)へ！ <b>1) 奈良女子宣言を発信。</b> ・奈良女子宣言をポスターや動画等で広めていく。 ※奈良独自の共生社会のあり方を提案。 ※共生が学べる旅の企画を立案し、関係機関に発表。 <b>2) 奈良女子宣言をESD 学会で発表</b> ・関係企業だけでなく、持続可能な社会の創り手の育成を目指す研究者・学校関係者の方々から評価をもらう。 ※企業・学校・研究機関との連携 <b>3) 評価していただいた「奈良女子宣言」を修正し、学校内でも広げる。</b> ・奈良女子宣言を修正・加筆を行い、学校内外に向けて発信していく。					
		<b>○ならまち防災学習</b> ・ならまちには江戸時代からの建物が多く、防災が重要であることを理解する。 ・防災の重要性の気づき発信し、昔から受け継がれてきた、奈良の人と鹿・建築の共生の工夫を深め、広げる。			<b>A: 認知的な学習</b> ア: 知識の深化を促す イ: 技能の活用を促す <b>B: 社会的・情緒的な学習</b> ア: 価値観を醸成する <b>C: 行動的な学習</b> ア: 行動の変容を促す									
他教科との関連	<b>(歴史総合)「産業革命」A-ア</b> ・産業革命が英国で起きたことで、ロンドンで万博が開催されたことを理解する。 <b>(歴史総合)「日本の開国」A-ア</b> ・欧米諸国が日本に開国を迫ってくるなかで、薩摩・佐賀・幕府がそれぞれで万博に参加していたことを理解する。			<b>(校外学習)「東大寺・ならまち」A-ア</b> ・東大寺とならまちをグループで協力しながら、奈良の良さや課題を探る。 <b>(NJ) SDGs 「東大寺とSDGs」C-ア</b> ・聖武天皇の思いとSDGs が関連していることを知り、身近なところからSDGs の達成に向けて行動する。 <b>(英語)「観光に来た外国人に伝える」C-ア</b> ・東大寺とSDGs のかわりを英語で伝える。		<b>(歴史総合)「明治維新」B-ア</b> ・奈良の鹿と人の共生の歴史を資料を活用し調べ、鹿仏殿積によって鹿とのかかわり方が変化が起きたことに気づく。 <b>(科学と人間生活) C-ア</b> ・奈良公園には、ルリセンチコガネという糞虫が鹿の糞を分解し循環していることを理解する。			<b>(歴史総合) A-ア</b> ・日本でも産業革命が起き技術革新が起きることを理解する。 ・帝国主義の動きによる支配があったことを理解する。 <b>(歴史総合) A-ア・イ</b> ・過去の万博について調べ、社会との関連性があることに気づく。 ・時代ごとのメッセージを探る。			<b>(英語)「奈良女子宣言を英語に翻訳」A-イ</b> ・未来の万博につなぐため英語で宣言を作る。 <b>(アニメーション部)「ポスターを作成しよう」A-イ B-ア</b> ・奈良女子宣言を視覚的に伝えるポスターづくり <b>(情報 I)「発表スライドの作成」A-イ</b> ・発表に効果的なスライドづくりを理解する。		

